

久慈・ふるさと体験だより

第23号

発行主体：（一社）久慈市ふるさと体験学習協会/久慈市

久慈市の自然・生活文化を体験

～コロナ対策を講じ、「くじし・こころの体験」を満喫～

県内外を対象とした教育旅行の受け入れが5月24日から始まり11月末までに延べ1,531人が久慈市を訪れました。

一方で、昨年度から続く新型コロナウイルスの影響により、8月には岩手県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、延べ1,898人が当市での教育旅行の中止を余儀なくされました。

受入中は新型コロナウイルスの影響に配慮し、昨年同様民泊体験は中止、マスク着用、手指消毒のほか、学校側対策として検温や食事時の会話禁止など様々な感染予防対策をし受け入れを実施しました。

多くの学校から、「このような状況の中、私たちを受入れてくださりありがとうございます。」とあいさつがあり、生徒・学生たちは様々な自然・文化・産業体験等を通じて交流し、久慈市の体験を満喫しました。



まめぶ作り体験の様子



ラインクライミングの様子



漁業体験の様子

侍浜町で潮風ライド体験

～移動も楽しい！E-Bike～

国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業を活用し、侍浜町と三陸復興国立公園の魅力を体感する「久慈・SAMURAIHAMA体感ツアー」を造成し、11月8～10日にはツアーを実施しました。

新たに取り組んだE-Bike（電動アシスト自転車）で侍浜町内を回る潮風ライドでは、横沼展望所や厳島神社など名所等を巡りながら、自然豊かな景色を楽しみました。

ツアーでは、潮風ライドの他、塩づくり体験や浜の郷土料理体験、侍浜タラソテラピーウォークなどを体験し、参加者からは、「景色を楽しみ、体験を通じて地元の方と交流もでき、とてもいいプランだと思った。」などの意見が聞かれました。



オンラインホームステイ

8月5、6日、JENESYSオンライン単独交流プログラムが行われ、ASEAN諸国や東ティモールから55人がオンラインによるホームステイ体験をしました。

6日には侍浜町の民泊家庭5世帯とオンラインでつなぎ通訳を介しながら、被災体験や日頃の防災対策、地元でとれた海産物や野菜を使用した料理など、日本の文化を紹介しました。

コロナ禍で、様々な行動が制限され本来のホームステイとは異なる形での取り組みでしたが、参加者の皆さんは、楽しく交流をされました。



◇手軽に冬のアクティビティを楽しもう！スノーシュートレッキング◇

雪の上を自由に歩くことのできるスノーシュー(西洋かんじき)は、雪遊びの初心者にもおすすめのアイテムです。

スノーシューを履いて雪の上を歩く体験は新鮮で、いつもと違った景色を見ることができます。

さあ、スノーシューで日本一の白樺林へ出かけてみましょう！

●開催時期…1月～3月まで

(積雪状況で変更になる場合がございます。)

●体験時間…午前の部9:30～ 午後の部13:00～(2時間程度)

●集合場所…平庭山荘

●体験料金…お一人様2,500円(2名様～、スノーシュー貸出料含む)

●参加年齢…10歳以上

※久慈市ふるさと体験学習協会ホームページからもご予約が可能です。



体験インストラクター・民泊受入家庭募集中

久慈市ふるさと体験学習協会では、ともに活動して下さる体験インストラクターの方・民泊受入家庭を募集しております。久慈を訪れた方たちに、みなさんのふるさと“久慈”の魅力を伝えてみませんか？

少しでもご興味を持たれた方は、下記のお問合せ先までお電話下さい。

あなたの疑問・不安に協会スタッフが丁寧にお答えいたします。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

民泊体験とは

民泊体験は、普段の生活を体験いただくもので、特別なことをしていただく必要はありません。

宿泊サービスではありませんので、生徒たちをお客さんとしてではなく、「家族の一員」として迎えていただきます。

一緒に料理や配膳をしたり、掃除などのお手伝いをしたり、時には散歩をしたり、積極的にお話をし、こころこころの交流をしていただきます。

当協会では安心・安全に民泊体験を行えるよう救命救急講習会、衛生管理講習会、意見交換会なども実施しております。また、民泊体験中は、市及び協会スタッフが24時間体制でサポートしております。

民泊についてのよくある質問

Q 民泊には、どんな生徒が来ているの？

A 仙台市や首都圏からの中学生がほとんどです。

Q 何人くらい受け入れるの？

A 4～6名程度を予定しています。また必ず毎回受け入れなければならないものではありません。

Q 受入れはボランティアで行うの？

A いいえ。参加いただいたご家庭には、民泊体験料として生徒1人につき5,500円程度をお支払いしています。

Q 特別な食事は料理できませんが大丈夫ですか？

A 全く問題ありません。魚の煮つけ、煮しめ、おひたし、漬け物など、普段の食事をご提供いただくだけで結構です。

ご感想・お問い合わせ・プログラム体験お申込み

民泊・体験全般：一般社団法人久慈市ふるさと体験学習協会事務局

TEL 0194-75-3005

久慈市産業経済部商工観光課交流推進係

TEL 0194-52-2168

久慈市ふるさと体験学習協会の情報は、ホームページ等でも発信しています。

他にもまだまだたくさんのプログラムをご紹介しているので、ぜひ一度のぞいてみてくださいね。

◇久慈市ふるさと体験学習協会 ホームページ

→ <http://www.kuji-taiken.jp/>

◇久慈市ふるさと体験学習協会 フェイスブックページ→「久慈市ふるさと体験学習協会」で検索！

◇久慈市ふるさと体験学習協会 インスタグラム

→ 「kujishi.furusato.taiken」で検索！